

試合番号 : 215	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 880					
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:34	試合時間 : 01:34					
主審 : 高橋 宏明	副審 : 桑原 健輔						
VC長野トライデンツ	通算 1勝 22敗 ポイント : 5	0	22 第1セット 25	25	3	JTサンダーズ広島	通算 12勝 11敗 ポイント : 39
今日の試合は、各セット終盤での自チームミスによる自滅する試合になった。昨日の負けからの修正は、良くできたと思う。ここぞと言う時の集中力、チームの結束力がまだまだ見られなかった。全員がリーダーと言う気持ちで戦い、挑み続けたい、この先も強いチームにはならないと思う。一人一人が意識変化をしていき、残りのリーグ戦を全力で戦っていききたい。			21 第2セット 25			昨日課題として残った試合への入り方は改善され、サイドからの攻撃は非常に効果的だった。集中力を切らさずにプレーを続けられた事がストレート勝ちの大きな要因だと思う。	
要約レポート	今シーズン2勝目を狙うVC長野トライデンツが、昨日に続き、現在7位のJTサンダーズ広島を松本に迎える対戦。第1セット、JT広島は江、ラッセル、新井が、VC長野はアラウジョ、三輪がスパイクを決め、中盤まで一進一退の攻防が続く。JT広島は、20-20でリリーフサーバー西の狙いすましたサーブから連続得点を挙げて終盤につき詰ると、JT広島が25-22でセットを先取した。第2セット、VC長野は波佐間、三輪のクイックも決まり、中盤までリードする展開で進む。小野寺の2連続サービスエースで追いついたJT広島は、金子の狙いすましたサーブで相手を崩してからブロックで点差を広げていく。VC長野も三輪がスパイクを決めて粘るが、新井の攻撃が決まったJT広島がセットを連取した。第3セット、江、ラッセル、新井の攻撃に加えて、金子のツーアタックもよく決まったJT広島がリードした展開で進む。VC長野も池田(幸)を中心に反撃し、中盤から下川がアタッカーを使い分け追い上げるが、JT広島はラッセルのサービスエースで突き放す。VC長野は波佐間が意地のブロックを決めるが、ラッセルのスパイクで締めたJT広島がセットを奪い、ストレートで勝利した。						

試合番号 : 216	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 1,001					
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:12	試合時間 : 02:12					
主審 : 正岡 卓	副審 : 西中野 健						
東レアローズ	通算 15勝 9敗 ポイント : 41	3	25 第1セット 18	18	2	サントリーサンバーズ	通算 18勝 6敗 ポイント : 50
今日の試合も、昨日同様難しい戦いとなりましたが、最後はしっかりと勝利を手に入れることが出来ました。途中から出場した米山がチームを盛り上げてくれました。1週間リーグが空きますのでコンディションを整えて、次の試合に備えたいと思います。			15 第2セット 25			先ずは勝利を取めた東レアローズ、本当におめでとうございます。フルセットで負けたのは久しぶりですが、本当に悔しいです。試合への準備の段階でミスが、監督のミスが今日の敗因です。自分たちの行動が結果につながる。チームとして戦うことの重要性、バランス、全てがはまらなければ勝利を掴み取ることが出来ないことを学びました。この敗戦から、スタッフ、選手共に多くを学び、次に活かしていかなければなりません。PLAY HARDのスローガンを嘘をつかない様に、次戦に向けて準備していきます。2日間素晴らしい環境で試合をさせていただきありがとうございました。	
要約レポート	第1セット序盤から、東レはパダル、高橋、サントリーはムセルスキー、彭がスパイクを決める。東レは西本のサービスエースからリードを作ると、西本、パダルが連続でブロックを決め突き放し、その後ブロックからチャンスを作った東レがセットを先取。続く第2セットは、サントリーが藤中(謙)、小野のスパイク、ムセルスキーのブロックも絡みリードを奪う。東レも、高橋のブロック、小澤、富田が攻撃で応戦するが、サントリー-彭、アラインのブロック、ムセルスキーのサービスエースで突き放し、セットを奪い返した。第3セットは、序盤、東レ、パダル、サントリー・アラインのサービスエースの応酬が展開される。サントリーはムセルスキー、小野のスパイク、彭のブロックでリードを広げる。東レも、小澤、高橋が気迫のスパイクを見せるが、リードを守ったサントリーがセットを連取した。第4セットも序盤から、両チームの激しい攻撃と、ブロック陣の奮闘で密度の濃い展開。東レは米山を中心に守備でも激しい攻撃を好シープする。中盤、サントリーが一歩抜け出すが、東レは粘り強いパレーで流れを渡さず、富田の連続サービスエースでセットを奪い返した。勝負の第5セット、東レ富田の好リブもあり、会場のボルテージは最高潮。東レのセッター酒井はパダルにボールを集め、パダルも確実に応える。高橋のブロックでさらに勢いづいた東レは、粘るサントリーを振り切り、チーム丸となって勝利をもち取った。						

試合番号 : 217	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 2,100					
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:41	試合時間 : 01:41					
主審 : 城 智人	副審 : 弘中 秀治						
ジェイテクトSTINGS	通算 14勝 10敗 ポイント : 45	3	28 第1セット 26	26	0	ウルブドッグス名古屋	通算 18勝 6敗 ポイント : 51
まずは粘り強いプレーを見せたウルブドッグス名古屋を潰えたいと思います。ベンチから入ってきた選手、スタートから出たメンバー全員がよいパフォーマンスを見せてくれたので、すごく嬉しいです。			25 第2セット 22			相手の効果的なサーブによってタフな試合となりました。更にブロックとディフェンス、その切り返しの攻撃に苦戦する場面もありました。選手たちは状況に応じたプレーをしていたので、素晴らしいと思います。また、我々の気迫のこもったプレーは次の試合に繋がる布石になると思いますし、本日のプレーを忘れることなく、次戦のホームゲームもチーム丸となって戦い抜きます。	
要約レポート	ジェイテクトSTINGSがウルブドッグス名古屋をホームに迎える愛知ダービー2戦目。第1セット、ジェイテクトはウルナウトのブロック、WD名古屋はクレクのスパイクで幕を開ける。序盤からジェイテクトは村山のサービスエースなどでリードする。対するWD名古屋も傳田や山崎のスパイクで追い上げる。終盤には王のサービスエースなどで逆転するが、ジェイテクトも柳田がスパイクを決め、互いに譲らぬ展開となった。デュースまでもつれたが、最後はジェイテクトの西田がサービスエースを決め、このセットを先取した。第2セット、序盤からWD名古屋は高梨、ジェイテクトは柳田がスパイクを決め、互角の展開となる。中盤、ジェイテクトは柳田のサービスエースなどで3点差をつけると、このリードを終盤まで守り、最後は西田がスパイクを決め、セット連取した。第3セット、ジェイテクトは序盤から福山のブロックなどで5-1と4点差をつけた。対するWD名古屋はクレクや傳田のスパイクで追い上げる。ジェイテクトは追い上げられ苦しい場面もあったが、このセットもリードを守り、最後は福山のスパイクで勝利し、2連勝で幕を閉じた。						

試合番号 : 218	試合会場 : レゾナック武道スポーツセンター (大分県立武道スポーツセンター)	観客数 : 682					
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:01	試合時間 : 02:01					
主審 : 平田 敬基	副審 : 木内 誠二						
大分三好ヴァイセアドラー	通算 3勝 19敗 ポイント : 9	1	15 第1セット 25	25	3	堺ブレイザーズ	通算 17勝 7敗 ポイント : 51
第1セットの修正を試合中に行い、第2セットは大分三好のチームスタイルであるサーブと途中出場の井口のトスワークでセットを取ることが出来ました。第3、4セットは堺の高さのあるスパイクとブロックに苦しめられましたが、ディグで粘りを見せることは出来たと思います。来週は非常に大切な試合がありますので、準備をして臨みたいと思います。			28 第2セット 26			今日の試合は、相手のハードサーブに押されてセットを落とす展開で、苦しい状況もありましたが、粘り強く戦い勝ち点3を取ることが出来ました。来週は1週、試合がない週になるので、チームとして再度確認する部分や修正点を明確にし、残りの試合に繋げていきます。	
要約レポート	昨日の試合でストレート負けを喫し、リベンジに燃える大分三好ヴァイセアドラーと、アウェイ2連戦で連勝を狙う堺ブレイザーズの一戦。第1セット、序盤大分三好は小野、山田の攻撃、堺はバーノンのスパイクで得点を重ねる伯仲した展開になる。堺は粘り強い守備からリズムを掴むと、要所で得点を重ねた堺が25-15でこのセットを制する。第2セット、堺はバーノン、樋口が攻撃の中心となり、大分三好をリードする展開。堺が一時セットポイントを取るも、大分三好が終盤驚異的な粘りを見せデュースに持ち込む。最後はモゲニが強烈なエースを決めた大分三好がセットを制した。第3セット、堺は樋口、吉野が攻撃を牽引。序盤から1歩抜け出す展開。大分三好はモゲニ、山田が中心となり追い上げを図るも、着実に点数を重ねた堺がこのセットを制した。第4セット、両チームとも互いのスパイクに食らいつつ激しい攻防となるも、樋口が4連続得点を挙げた堺が、流れを手中に収める。大分三好も諦めないプレーで追い上げるも、大崩れしなかった堺がセットを制し、勝負を決めた。ホーム大分三好は、熊谷のV.LEAGUEデビュー戦を勝利で飾ることは出来なかった。						

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。